

東武鉄道 SL大樹

賛助会員に聞きました！

■SL大樹の魅力

奥深い歴史と文化、それを育んできた豊かな自然が共存する日光・鬼怒川エリア。沿線地域の足としての役割を担う当社は、鉄道会社ならではの地域活性化策としてSLの復活運転を実現。鬼怒川線の下今市～鬼怒川温泉駅間を、片道約35分かけて走ります。

SL運転をきっかけとして地域を愛する一人ひとりが主役となって魅力ある地域を創造していくという「いっしょにロコモーション」の主旨の下、地域と一体となって日光・鬼怒川地区を盛り上げています。

■SL大樹にみんなで手を振ろうプロジェクト

ー沿線のみならずSL大樹にご乗車のみならず手に振ってください、現在ではSL大樹の名物となっています。

■鬼怒川線に季節ごとの花を咲かせようプロジェクト、いっしょにイルミネーション

ー車窓からの景色を楽しみ、思い出としてお持ち帰りいただきたいとの想いから、整地・植栽および設置・管理運営まで、地域の方々と協力して行っています。

■山との関わり

■当社では、夏季に会津高原尾瀬口行の「尾瀬夜行」、秋季に東武日光行の「日光夜行」、冬季に会津高原尾瀬口行の「スノーパル」といった夜行列車を運転し、ハイカーおよびスキーヤー・スノーボーダーの「朝から行動したい」需要に応じています。

■男体山の登拝祭にあわせ、東武バス日光様のご協力の下、夜に東武日光駅に到着する特急列車に接続して臨時路線バスを運行しています。

■日光・鬼怒川エリアのこれから

「ザ・リッツカールトン日光」の開業等、東武グループの力を結集した各施策の展開により、国内外を問わずあらゆる人が楽しめる、オフがない国際リゾートとしての地位を確立し、あわせて日本の先進技術を駆使することで日光・鬼怒川エリアの歴史・文化・伝統と自然が共生する「世界唯一の国際エコリゾート」を目指していきます。

<SL大樹と花魁道中>



<みんなで手を振ろうプロジェクト>

自然保護委員会

～私の好きな山・おすすめの山 苗場山～

苗場山はご存じの通り、新潟、長野県境の百名山。山頂には神様が作ったという田んぼが広がる。その個性は素晴らしく、美しい。私は山の初心者ころ、北海道暑寒別岳中腹の雨竜沼で湿原という風景に出会った。雨竜沼は北海道の尾瀬と呼ばれるところであるが、バス終点から3時間半の林道歩きで山小屋に着き、さらに2時間の山道で雨竜沼に至る。この雨竜沼は初心者にとっては冒険だったが、霧の中に浮かぶ幻想的な池塘に、初体験の湿原風景に魅了された。その次に尾瀬へ行った。ここで本家の「尾瀬」に対面し、山の急峻さ、緊張感とは違う開放的で穏やかな湿原風景と山の深さを知った。苗場山はその次に訪れた山だ。ここは、これまでに行った湿原とはすっかり異なっていた。急峻なアプローチを超え、山を登り始めると傾斜が緩み、見渡す限りの平らとなった。山頂は広大な平原であることに驚いた。ここは、湿原として見ても特異で他の湿原とは異なり傾斜を持った奥行きのある風景であった。会津駒ヶ岳、平ヶ岳、尾瀬の田代山、秋田の田代岳など山頂が湿原の山は多くはないが存在する。でもこの苗場山の山頂湿原はスケールが違う。この山頂湿原、夏に訪れると高山植物がとりわけ美しい。それとともに脆弱な自然である。湿原は地形や地質、多雪などにより水はけが悪く、貧栄養なところに発達している。森林の侵入とせめぎ合ってかろうじて存在しているのだ。そのため、湿原をむやみに歩いて土壌表面が破壊されると、土壌が浸食され湿原が壊れていくことになる。苗場山も木道が作られ、整備が進んでいるが、これによりオーバーユースの影響を押さえ貴重な湿原生態系が守られていることを心にとめたい。数万年もかけてできた地球の贈り物をいつまでもつなげて行きたいと願う。

自然保護委員会 岡田博行

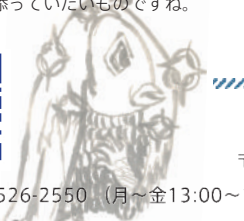


遭難対策委員会

～新しい山岳活動のかたち～

スポーツクライミング競技が新たに加わり、東京五輪・パラリンピックが華々しく開催される筈であった2020年、世界は思いもよらぬ方向に舵取りをさせられる事となりました。新型コロナウイルス感染症により、各国の都市は閉鎖され、日本でも緊急事態宣言が発出される事態となりました。様々な活動が自粛を余儀なくされ、登山の分野においても山岳四団体による「山岳スポーツ活動自粛のお願い」が出されました。感染拡大当初、新型コロナウイルスと戦い、撲滅を目指す気運が高まっていたが、現在では「ウイルスとの共存」を基軸とした全く新しい生活様式へと舵がきられています。「コロナ後の世界、という言葉に象徴されるように、今までの日常が日常ではなくなる事を誰しもが肌で感じているのではないのでしょうか。「これからの山岳スポーツ活動をどのように行っていくのか…」そんなこと想像もしなかったですよね。都岳連でも講習会や登山教室などは全て中止や延期となりました。再開されたとしても、今までは違った形で実施を余儀なくされるでしょう。開催する側も受講する側も、お互いに柔軟な対応が不可欠となるのではないのでしょうか？実際の登山やクライミングにおいても、今までの常識が常識ではなくなってくるように思われます。例えば、山小屋を利用するにしても今までのようには利用出来ないでしょうし、山小屋の存続自体が困難になるケースがあるかもしれません。緊急時の避難施設であり、遭難救助の最前線基地の役割を果たす事もあります。整備された登山道が当たり前のように山を楽しんでいます、そこを維持管理している方が居てこそなのです。山岳スポーツは大自然を介して我々に多くの恩恵を与えてくれます。しかしそれは、そこに係わる様々な人々の協力があって成り立っていることを忘れてはなりません。登山口やグレンデ周辺の地域住民の方々の協力のもとに成り立っていることを忘れてはなりません。我々は時に自分勝手な行動をとりがちです。自分の都合だけ考えて、そこに係わる人々の気持ちを踏みにじってしまう行為を知らず知らずのうちにやっているかもしれません。新型コロナウイルスがもたらした「新たな世界、で生きていく事になった我々は、常識が常識でなくなる事を身を持って体験することになるでしょう。そんな今だからこそ、山岳スポーツ活動の常識を見直してみる絶好の機会かもしれません。想像力を膨らませ、目には見えない協力者の心に寄り添い、お互いに思いやりをもった行動が取れば、それは豊かな文化として根付いていくはずです。ー ソーシャルディスタンスー 例え人と人との距離が離れても、心と心は常に寄り添っていたいものです。

遭難対策委員会 横 昭吾



アマビエ
海中から出現し、豊作や疫病の予言とその姿を写した絵
による除災をしてくれると伝えられる妖怪。コロナの疫
病退散の護符として広まり、厚生労働省もコロナ感染拡大
防止のアイコンとして採用している。

公益社団法人 東京都山岳連盟

〒101-0041 東京都千代田区神田町2-10 パークサイドセブン2F

Tel/03-3526-2550 (月～金13:00～17:00) Fax/03-3526-2551(常時) https://www.togakuren.com E-mail:lej04543@nifty.com

編集後記

新型コロナウイルス感染症リスクのなか、皆様がいかにお過ごしでしょうか？都岳連通信一号が発行された三月末は日本全国に感染が急速に広がり、新年度が始まって新しい活動ができないう状況が続いておりま。登山教室や事務局業務が停止する中で「とがくれん通信」が、みなさまと都岳連を結ぶ架け橋です。こんな時だからこそ通信二号は休むことなく発行しよう、出版委員会もネットミーティングとネット校中で発行作業を行いました。今回は各委員会からの活動報告がありませんので、コラム的なものを書いて頂きます。例年の通信記事内容とはひと味ちがう興味深い内容となっておりま。また活動再開に向けての新規受講募集記事もありま。これから新しい登山スタイルを模索しながら、少しずつ活動を再開してゆくことになるでしょう。いままでの登山スタイルを見直し、「ウイルスとの共存」の時代に合ったスタイルで活動することが必須となったのかも知れません。

出版委員長 星野恒行



「人間万事塞翁が馬」か

公益社団法人東京都山岳連盟 会長 松本 敏

いつもの年なら東京も梅雨明け間近となり、雲が沸き立つ夏山への思いを胸にする頃です。思いがけずに降って湧いたこの度のコロナ禍、社会も我々の日常も大きく変わってしまいました。外出や移動の自粛要請が緩和されましたが、感染症の流行が収束したわけではありません。罹患者への不安があったり、登山が地元の人々に受け入れていただけるか気がかりであったり、晴れやかな気持ちで登山が再開できる日はまだ先のように思います。さて、優待施設や加盟会員、賛助会員、個人会員の皆様、そして、都岳連にご支援を頂いている関係の皆様、こうした厳しい状況下、いかがお過ごしでしょうか。目前の事態に希望を失うところですが、暗闇の先の夜明けを思い、目先のことに一喜一憂することなくできることを着実に実行したいと考えております。なお、こうした厳しい事態のもと私共都岳連は、登山教室やスポーツクライミングなどの競技を中止するなどして業務や事業を感染症対策に軸足を置いて行ってきました。最近になって移動やイベントの自粛要請が緩和されたことから、感染症対策をしっかりと行うことを前提に事業を再開することを検討しております。最後になりますが、事態が1日も早く収束し穏やかな日々が戻りますこと、また、皆様とご家族の皆様のご健勝を心からお祈りし、ごあいさつとさせていただきます。



プロのガイドになろう！(第4期生募集)

プロガイド養成機構委員会

■ガイド養成の意義

従来の指導員(コーチ)制度は主に登山技術の検定を重視してきたため、最近の登山者のニーズには十分に応じられていないと考えております。そこで、東京都山岳連盟のプロガイド養成機構委員会では、安全登山のための技術と登山者へのホスピタリティ(思いやり)を兼ね備えた指導者の必要性を感じ、プロの指導者の養成を4年前より行ってきました(現在養成された約80名の方がガイドとして活躍しています)。これからの山岳指導者には、従来の指導員(コーチ)制度の登山技術をベースにガイド技術・思考を加えた、新しいプロの指導者(ガイド)が安全登山の推進のために必要だと思っています。長年の登山活動の経験者の中から有能な人材を掘り起こし、素晴らしいプロの指導者(ガイド)として養成をしたいと考えます。プロの指導者(ガイド)としての活躍を志す意欲ある方の参加を希望します。机上・実技研修には、検定試験がありませんので、プロの指導者(ガイド)として必要な知識と技術を机上講習と実技研修を通じてしっかりと身につけていただきます。

■下記の条件を満たせば、誰でも受講可能です

- 所属山岳会でリーダー又は、リーダーに準じる会員であること
- 個人で冬季岩登り等を行っていて、将来指導者になりたい方
- 現在までに山行累積300日以上であること
- 直近(5年間)の代表的な山行を記し申し込むこと
- 年齢が75歳以下であること
- 下記記載の机上講習・実技研修にすべて出席できる方

◎日本山岳スポーツ協会公認の山岳又はスポーツクライミングのコーチ(旧山岳指導員)資格を有する方、あるいは将来資格を取得希望の方(取得希望者は研修期間中に、指導員検定に合格する様に指導もいたします)

※免除科目詳細は、「受講案内パンフレット」に記載

■ガイドの種類とガイド範囲

トレックガイド(TG)	無積雪期	一般登山道で実線で示されたコース。
	積雪期	有料の技術講習会は出来ません。
サミットガイド(SG)	無積雪期	すべての山岳はガイド可能。※ただし一部のコースは不可
	積雪期	有料の技術講習会が可能。
エキスパートガイド(EG)	季節を問わずすべての山岳においてのガイドは可能。有料で一般登山者の技術講習会、トレック、サミットガイドの技術講習会及びガイドの指導養成もできます。	

2020年度 第8回通常総会報告

第8回通常総会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「招集による通常総会を中止し、通常総会での報告事項と議決を書面によって行う」ことに理事会にて決定しました。加盟団体正会員様のご協力により、102の加盟団体様より議決に関する返信をいただき、以下のように議決しました。

議決有効加盟団体数 163 賛成 101、反対 0 無効 1
過半数の賛成により事業報告ならびに決算報告は可決されましたことを報告いたします。なお無効票は、賛成、反対、委任いずれにも印が無かった票です。

事務局長 金子秀一

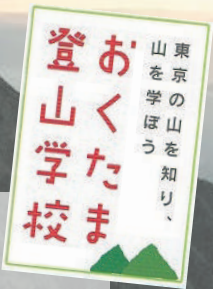
おくたま登山学校

こんにちは、おくたま登山学校の松本圭司です。
おくたま登山学校は現在講習をお休みして活動報告はありません。そこで今回は私と登山の関わりについて書かせていただきます。私が登山を始めたのは2005年の春。当時住んでいた浦安で知り合った友達と酒のノリで「富士山に登ろう!」となったのがキッカケでした。メンバーは全員登山未経験者だったので、東京タワーを階段で登って足を鍛えようしたり、高尾山の次に神奈川の大山に登って、次が富士山というよく分からない準備をしてトライしました。今で言う弾丸登山です。土砂降りになったり寒さで震えながら休憩したりしつつ登頂してのご来光(真似しない方がいいです)。その後、山登りを続けたのは私だけでしたが、ちょうど同じ頃に知り合った今の奥さんやクライミングの友達(クライミングと山登りを同時に始めたのです)と山登りを楽しむようになりました。よく知らない人たちがネットで集めて山に登るなんて事もしており(今で言うSNS登山問題)、今思えば危ういことをやっていた。2011年の秋、一緒に登っていた友達が陣場山で捻挫をしてしまいました。当時はファーストエイドキットも持っておらず、応急処置も搬送法も知らなかったので何も出来ませんでした。たまたま林道が近かったので電話で救助要請をして一緒に救急車に乗り、登山届や応急処置の無知っぷりについて色々怒られました。



さすがに反省し、登山について勉強しなくては!と思って叩いたのが都岳連の扉でした。トレッキングスクール、岩登り教室、雪山教室、その後山岳会でレスキューの技術などを教えていただきました。誰か死ぬ前に『無知のまま登る危険性』に気付いてよかったと思っています。捻挫した友人は気の毒でしたが感謝しています。それから時は流れて2016年。DIY GPS(ジオグラフィカの前身)という登山アプリを作っていたのと、アルパインガイド協会のレスキュー検定に通っていたことが縁となり、おくたま登山学校の講師として誘われ、2019年からは私がおくたま登山学校委員会の委員長となりました。2020年も頑張るぞと思ったのに新型コロナ!おくたま登山学校の卒業生が運営に参加するようになって盛り上がりて来たのに!登山は命を掛ける遊びです。何気ない登山道でも谷側に落ちれば死んでしまいます。軽い怪我でも動けないまま気温が下がれば致命的です。降りる尾根を一本間違えれば道迷いの挙げ句死んで行方不明になるかも知れません。登山は無知でやっていい遊びではありません。出来ればそれに、痛い目を見る前に学習や講習の重要性に気づいてほしいと思います(これを読んでる山岳会や個人会員の皆さんは大丈夫でしょうが)。登山者は600万人と言われていますが講習会に参加するのはごく一部です。是非もっと多くの方が、都岳連、山道具店、メーカー、ガイド組織や個人ガイドの講習会に参加するようになるといいなと思っています。その選択肢の一つにおくたま登山学校を入れていただけると嬉しく思います。

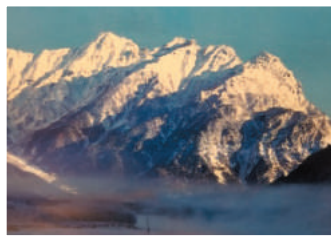
どうです?この流れるような我田引水。
おくたま登山学校委員会委員長 松本圭司



指導委員会 ~苦い思い出の山~

1985年の冬山合宿は、CLとして明神主稜〜明神岳〜前穂高岳を計画し、新人・中堅も含め11人で挑みました。

この年の年末は、異常に暖かみ神5峰BCの2ピッチ手前で小雨となり、あと2時間だからこのまま行こう!標高を上げれば雪になると判断し、オーバーヤッケのまま濡れと蒸れ状態でBCまで歩かせてしまいました。後に、この濡れが自分の“無知”から“凍傷”という社会人山岳会として決して許されない事態を招いてしまいました。この頃の社会人山岳会も、古い伝統を継承してテントの奥はリーダークラス、出入口には食当や新人が自然と配置されるようになっていて、ウインパー型テントの奥では靴を脱いで乾かすリーダークラス、出入口付近では炊事・水作りなどをする靴を履いたままの者、結果論となりますが凍傷への危機感がよりあれば、靴紐を緩めることや予備の靴下に履き替えるなどの指示ができたと思いますが、若輩リーダーには全体を見渡す力や配りが足りませんでした。今でも後悔され申し訳ない気持ちでいっぱいです。翌日は



天候が悪く停滞して一日休養をとったのですが、アタック日の前穂高岳手前では隊を2つに分けざるを得なくなり、元気な者にはアタックさせ疲労の大きい者には下山させました。また、全員が合流しての明神2峰の登り返しも時間がかった事が凍傷をさらに悪化させてしまった原因かもしれませんし、隊を二つに分けたことも賢明な判断であったかどうか今でも自問自答しております。最後に余談になりますが、ある本に加藤保男さんがエベレストから帰国し凍傷で東京通信病院に入院したことを、ご家族は“セイシン”と聞き間違え頭まで寒さで変になってしまったのかと大慌てしたと書いてあったことを思い出しました。現在はインターネットで情報も入りやすく、いろいろな講習会では講師から専門的な話を聞くことができ豊富な情報が得られます。

登山に関する技術や情報は常に更新されています。常に学びながら成長続ける事が山と長く付き合うコツです。また、1985年はいろいろな事で印象に残る年です。特に8月12日の日航機迷走ニュースは沼沢のテント場で聞き、その時間帯に東の空を見ていた記憶も蘇ってきました。
指導委員会 本郷利夫

—やっぱり「山岳会の仲間」っていいですね

久保田賢次の四方山話(その5)

～気持ちだけが山に向かう日々の中で～
山に出かけられない日々。東京足立区に暮らしている私は、時々、近所の荒川の畔を散歩したりしています。あんなに満開だった土手の桜も、いつの間にか葉桜へと移り、菜ノ花の黄色い帯や、芝桜のピンクの絨毯も鮮やかな時を過ぎ、樹々の葉の向こうの青空が、眩しく感じられる季節となりました。普段なら「雑草」として顧みることも少なかった草花にも歩みを止め、その清楚で可憐な造形に見入ったり、こんな時でも例年と変わらずに飛来してくれた燕の姿に安心してみたり…。身近な自然に、こんなに心を動かされるのは、郷里の家の広々とした庭や田畑を遊び場として、終日駆け回っていた小学校入学前の頃以来かも知れません。空が広く見える荒川土手を、とぼとぼ歩いていたら、もうひとつ新たな発見がありました。早春の雨の日の翌朝などには、真っ白な姿を見せてくれた富士山。その左右には丹沢、奥多摩、奥武蔵などの山々を、かなり鮮明に望むことができるのです。最近では羽田に向かう飛行機が都心の上空を飛ぶようにもなりましたが、キラキラ輝く大きな機体に驚きながら、西の空を見つめていると、刻々と色を増しながら夕陽に染まる雲の下に、長々と山脈のシルエットが続いているではありませんか。「東京の東のはずれのほうからも、山がこんなに良く見えんだ」。そういえば、私がこのことを意識したのは、登山と出会って初めて買った奥多摩方面のガイドブックを読んだ時だったと思います。今も手元に大切に置いてあるその本を読み返してみたら、「望岳都とは、木暮理太郎さんが、この東京という都会にあたたかひとつのよき形容詞である」という書き出しで始まる、著者の横山



家の近くから夕陽を眺めるのも、しばらく忘れていたことだった。西の空が茜色に染まり、山々のシルエットもくっきりと見えて来た(2020年4月15日撮影)

厚夫さんの巻頭文がありました。後に、同じ横山さんが出されていた『東京から見える山 見えた山』という本も古書店で買い求め、こうした山々に通いつめました。沢登りや岩の練習なども含めて、とてもお世話になった山域です。しかし、徐々に思いは日本アルプスや上信越、東北、北海道などに移り、さらには海外への憧れなども募り、すっかり身近な山々の魅力を忘れていたのです。「また出かけられるようになったら、じっくり歩きなおしてみたいなあ」。ちょうど、そんな時、『奥多摩、山、谷、峠、そして人』というすてきな新刊と出会いました。

50年以上奥多摩を歩き続けている山田哲哉さんが、2年間に渡って『山と溪谷』誌に連載した文章が、この春、一冊の本になったのです。「初冬の夕方、銀杏の木が葉を落とし始め、見晴らしがよくなると、真っ赤な夕焼け空に黒々とした山々のシルエットがクッキリとみえた」。季節や見ている場所は違えど、今、私の目の前に広がっている光景と一緒に。本に巻かれた帯には「変わったもの、変わらないもの……」という言葉もありました。自分自身の生活や気持ちも含めて、それを探しに出かけてみたいと、懐かしい山々への思いを募らせる日々です。

(くばたけんじ) 1958年茨城県筑波山麓生まれ。徒登山岳会所属。現在は東京都山岳連盟救助隊に所属。筑波大学山岳科学学位プログラム在籍、日本山岳救助機構研究員、日本環境ジャーナリストの会会員、山の日アンバサダーなど。

優待施設紹介

嬌恋の宿あいさい ~3つの百名山を望む宿~

東京都千代田区の保養所として生まれた「千代田区立嬌恋自然休養村」。嬌恋村と千代田区を結ぶ施設として多くの方々に愛されてまいりました。そんな当館が嬌恋村立となり、2016年に「嬌恋の宿 あいさい」としてリニューアルオープン致しました。嬌恋村は浅間山と四阿山・白根山と3つの百名山に囲まれており、どれも日帰りで山頂登山を楽しむことができます。当館は四阿山麓のバラギ高原に位置しており、スキー場も隣接しています。

湖や滝も近くにあり豊かな自然に囲まれております。館内にある嬌恋バラギ温泉で旅の疲れを癒してください。当館は高台の上に位置しており全客室・レストラン・ロビーから雄大な浅間山を眺めることができます。夕食は評判の良い会席料理をご用意致します。運がよければレストランやロビーから狐や狸・てん・カモシカなどの野生動物を見ることが出来ます。1万坪の国有地に9部屋だけの特別な空間へ、皆様のご来館、心からお待ちしております。

嬌恋の宿あいさい支配人 古賀 雅基



全国優待施設案内

●宿泊施設

奥多摩 三条の湯・駒鳥山荘
奥秩父 雲取山荘
富士山 トモエ館富士山八号目・三つ峠山荘
谷川岳 やど千秋庵・谷川岳肩の小屋・旅館 永楽荘・土合山の家
東北 焼き走り国際交流村・ペンションあるべじお・酸ヶ湯温泉・飯島山荘・八幡平マウンテンホテル・八幡平高原ホテル・アルプ天元台・ハイランドホテル山荘・八甲田山荘・奥の湯 森古山荘・国民宿舎 竜山荘・元湯甲子温泉 旅館大黒屋
南会津 茅葺屋根の民宿「離騷館」
日光 日光澤温泉・スパビレッジカマヤ・奥日光小西ホテル
浅間 天狗温泉 浅間山荘
尾瀬 尾瀬小屋・大清水小屋・山ノ鼻小屋・燈小屋
那須 三斗小屋温泉大黒屋
六日町 榎廣館
丹沢 蛭ヶ岳山荘・みやま山荘
八ヶ岳 夢科山頂ヒュッテ・赤岳展望荘・ヒュッテ夏沢・八ヶ岳山荘・美濃戸山荘・硫黄岳山荘・根石山山荘・夏沢鉱泉・オーレン小屋・ペンションさんどりよん
妙高 滝の湯・ホテル花文
長野 御嶽山たかの湯・Royal Hotel 長野

南ア 北岳肩ノ小屋・山彦荘・赤石温泉
北ア 雷鳥荘・みくりが池温泉・ひがくの湯・八方アルペンライン・相池バノラマウェイ・白馬岩岳ゆり園&マウンテンビュー・岩岳の湯・明神館・白馬八方温泉・桐池高原 桐の湯・太郎平小屋・薬師沢小屋・高天原山荘・スゴ乗越小屋・雷鳥沢ヒュッテ・ロッジ立山連峰・中房温泉・殺生ヒュッテ
鳥取 ホテル大山しろがね・皆生温泉 三井別館
伊吹山 ペンションいぶき
徳島 剣山頂上ヒュッテ
鹿児島 アクティブリゾート霧島
福岡 アクティブリゾート福岡八幡

●登山用具販売店
神田 さかいやすスポーツ
川越 秀山荘川越店
●クライミングジム
葛西 ロックランズ
西東京市 GIRI.GIRI



クライミングや山を楽しむ方の保険
※「CK ケガの保険」
個人で登山などを楽しむ方のため、山小屋はん利社の所定の運動参加を含む傷害保険です
http://www.ns-ins.com/personal/kega/gk/
海外高所登山やクライミングツアーに対応した保険
ボルダリングからエベレストまで、引受可能。事故支払い可能。ともに豊富です。基本的にすべて保険対応になっています
損害保険代理店 有限会社 セブンエー
〒103-0832 東京都千代田市千代田1-11-105
TEL 042-669-5330 http://e7a.jp/



Outdoor Village
JR明神駅徒歩3分
「東京登山」の拠点
アウトドアブランドの運動用品の専門店
最新のアウトドアライフを学ぶ場所
検索 [モバパーク アウトドアインジ]



国内唯一の山岳遭難対策制度™
JRO (ジロー) の会員制度
JRO 捜索・救助費用を550万円までカバー。
入会お問合せ先 (平日10時~17時)
JRO事務センター TEL. 042-669-5330
日本山岳救助機構合同会社

